



鞆港に面する朝宗亭(右端)と常夜燈

## 市民のくらし・福祉を守り 文化や教育を大切にするまちづくりを

6月市議会は、6月19日から7月4日までの日程で行われました。  
一般質問や常任委員会の概要をご報告します。

### 目次

- P 2~3 「共謀罪」、核兵器廃絶、市職員の労働環境  
LGBT、学校統廃合、道路問題
- P 4 学校校舎の老朽化、RDF(ゴミ固形燃料)事業  
介護保険利用料、中小・小企業支援

「太田家住宅朝宗亭」は、1804年に建てられた町家で、国の重要文化財に指定されています。鞆の歴史的景観の中心となる貴重な建造物です。「朝七卿落遺跡」として、広島県の史跡にも指定されています。

### 「抜本修理が必要」——福山市答弁

しかし、老朽化がひどく深刻な状況です。現状について市の認識を質すと、「抜本修理が必要」と答弁しました。  
**早期修理へ市長要望書提出**  
「朝宗亭」は、福山市が誇る国民共有の財産です。早急に修理するよう、市長が要望しました。



7月7日要望提出  
←6月20日視察調査



日本共産党

電話・FAX 084-922-2815

http://www.f-jcp.com



村井あけみ 高木たけし 土屋ともり 河村ひろ子

## 国保税の引き下げを!!

福山市は、今年度の国民健康保険税を増税する条例案を示しました。  
国保税は今でも大変な負担を強いています。2578筆の署名とともに増税反対の「請願」が議会に提出され、日本共産党市議団は「修正案」を提案しました。  
**16億円の黒字を活用せよ**  
昨年度の国保会計は、16億3791万円余の黒字(見込)です。それに対し、今回の増税分は、わずか4600万円余です。  
「決算剰余金を活用して、増税やめよ」と追求しましたが、市は「安定的な財政運営上、困難」と冷たい答弁でした。

今でも重い負担がさらに…  
**所得350万円  
3人家族の場合  
10,500円増  
年56万7900円に**  
(40代夫婦と子ども)

引き下げ「修正案」を提案  
日本共産党市議団は、4議席の議案提案権を活用して国保税を引き下げる「修正案」を提案しました。  
しかし、切実な願いが込められた「請願」も「修正案」も、日本共産党以外のオール与党の反対で否決されました。  
「払える国保税」を実現するため、市民とともに運動を広げ、ねばり強く取り組みます。

会派	氏名	請願	修正案	会派	氏名	請願	修正案
日本共産党	村井 明美	○	○	水曜会	小川 真和	—	—
	高木 武志	○	○		小林 茂裕	×	×
	土屋 知紀	○	○		早川 佳行	×	×
	河村 晃子	○	○		瀬良 和彦	×	×
公明党	宮地 徹三	×	×	水曜会	熊谷 寿人	×	×
	塚本 裕三	×	×		五阿 彌寛之	×	×
	中安加 代子	×	×		高田 健司	×	×
	門田 雅彦	×	×		今岡 芳徳	×	×
	生田 政代	×	×		大田 祐介	×	×
	奥 陽治	×	×		榎原 則男	×	×
	宮本 宏樹	×	×		連石 武則	×	×
	川崎 卓志	×	×		木村 秀樹	×	×
	法木 昭一	×	×		石口 智志	×	×
	池上 文夫	×	×		神原 真志	×	×
市民連合	西本 文章	×	×	水曜会	喜田 紘平	×	×
	大塚 忠司	×	×		徳山 威雄	×	×
	八杉 光乘	×	×		稲葉 誠一郎	×	×
	宮地 毅	×	×		藤原 平	×	×
新政クラブ	岡崎 正淳	×	×	水曜会	能原 正洋	×	×
	石岡 久彌	×	×		平松 正人	×	×
無所属				水曜会			

すべての議員の賛否一覧 賛成○ 反対×

## 安心して学べる 学校に

市内の小・中学校の老朽化が進み、ボロボロの校舎が増えていきます。  
41小学校58棟・16中学校27棟の校舎が耐震補強のみで、リフレッシュ改修工事は行われていません。



廊下の手すりに亀裂や穴



水が出ない理科室の蛇口

早く安全な学校に直してね!



築50年の中学校を現地調査。  
要望の半分も対応できず  
昨年度は各学校から計2000件の修繕要望が出されましたが、900件しか対応できていないことも分かりました。  
**改修費を増額せよ**  
予算を抜本的に増額し、

校舎の改修を急ぐよう、強く求めました。  
市は、「学校施設の長寿命化計画を策定し、整備に取り組み」と答えました。子どもたちが長い時間を過ごす学校を、安全でより良い教育環境にするため、引き続きがんばります。

## 動く人が元気の福山に

### 実態調査を活用し 中小・小企業支援を市の重点政策に

市は、「ものづくり福の耳プロジェクト」として、製造業関連の中小・小規模企業を訪問し、要望や支援ニーズを調査しています。281件(今年5月末時点)を調査した結果、「人手不足」や「後継者不足と育成」に課題が多いと分かりました。  
**「人手不足」に支援を**  
党市議団は「後継者養成期間中の賃金補助」や「税の免除・軽減」など事業継承の支援策を求めてきましたが、改めてその必要性が明らかになりました。  
また、若者が中小・小規模企業で新規雇用された際の補助など、新たな支援策の創設も必要です。  
中小企業対策予算の抜本的な拡充を要望し、「中小企業者に寄り添った支援策を検討し、実施する」と答弁がありました。



RDF(ゴミ固形燃料)=可燃ゴミを乾燥させクレーン状に固めた燃料。

市は、ゴミを燃料に作り変え、発電に利用するRDF事業を行なっています。来年度末には事業を終了する予定でしたが、5年延長し、総額20億円かけてRDF工場を大規模改修しようとしています。  
**リサイクル時代に逆行**  
今、市民のゴミ排出量は、10年間で約10%も減少しています。RDF事業は、ゴミを出し続けなければ必要な発電量が得られません。リサイクル時代にそぐわないものです。

RDFは、複雑な工程と機械設備で作られる可燃物です。安全に製造するための消耗品や管理費も膨大で、年間約20億円の経費が発生し続ける「金食い虫」の事業です。  
しかも、隣地のRDF発電所で発電した電力はすべて、RDF工場が買っています。

RDF方式に固執する理由はない  
RDF事業は「ダイオキシン対策」が理由でした。しかし、最近のゴミ処理施設の排ガス処理は、性能が向上しており、RDF方式に固執する理由はありません。経費の高いRDF事業からは早く撤退するべきです。

## 金食いの虫のRDF事業から撤退を! 総額20億円の大規模改修



## 介護保険 利用料を助成せよ! 「これ以上の負担は耐えられない」

来年8月から「現役並み」所得者の介護保険利用料が3割に引き上げられます。しかし、多くの高齢者は「これ以上の負担は耐えられない」と悲痛の声をあげています。  
**市独自の助成制度の創設を**  
他の自治体では、独自に利用料の負担を軽くしています。  
福山市でも助成制度を創設するよう求めました。

